葉色が低下中！逃すな穂肥のタイミング！

- ・穂肥が施用できる稲姿で、分施体系では1回目の穂肥時期を迎えています。
- ・一部のほ場では葉色の低下が著しいため、すみやかに穂肥を施用してください。

1 7月17日現在のコシヒカリの生育状況（拠点ほ場9か所の平均）

● 茎数は目標値より多い。葉色は濃いですが、前回調査時より4ポイント低下しているほ場がある。

		本 年 値	前 年 値 (前年比・差)		目 標 値 (カレンダー生育目標値比・差)	
草丈 (cm)		72	77	(94%)	75	(96%)
茎数 (本/m ²)		520	458	(114%)	430	(121%)
葉数 (葉)		11.6	11.6	(±0.0)	12.0	(-0.4)
葉 色	SPAD 値	35.5	33.3	(+2.2)	33.0	(+2.5)
	葉色板	3.8	3.4	(+0.4)	3.6	(+0.2)

2 コシヒカリの今後の管理ポイント

(1) 分施体系の穂肥

- ア 有機入り肥料の場合は「出穂期 20 日前」と「出穂期 12~10 日前」に、それぞれ窒素成分で 1kg/10a を目安に施用しましょう。
- イ 幼穂長を必ず確認し、適期に施用しましょう。
- ウ カラースケールで 4 以上など葉の色が濃いほ場では、「出穂期 20 日前」の穂肥は控えめとし、「出穂期 12~10 日前」の穂肥は必ず施用してください。
- エ 詳しくは佐渡米カレンダー7月の「コシヒカリ 1 回目穂肥施用のめやす」を参照してください。

(2) 全量基肥肥料（一発肥料）体系の追加施肥

出穂期 10 日前の葉色が著しく低下している場合（葉色版 3 以下、SPAD 値 30 以下）の場合は、「出穂期 10 日前頃から 5 日前頃」に有機 100%（味好 2 号等 15~20kg 程度/10a）を施用しましょう。

水分補給と休息で熱中症を予防しましょう！